



Gluegent Gate

GSync セルフマネジメントコンソール



目次

はじめに	2
表記・略称	2
アクセス情報	3
トップ画面	4
タスク管理	5
同期設定	5
データソースタスク	6
データソース履歴	10
接続管理	11
Data Source	11
Gate	12
G Suite	12
ログイン設定	13



はじめに

Gluegent Gate AD/LDAP連携オプション並びにスプレッドシート連携オプションでは、Gsync（同期サーバ）を用いてGluegent Gateへのユーザー/グループ同期を行います。本書に記載するセルフマネジメントコンソールでは、お客様自身での同期の手動実行や、その結果の確認、並びに基本設定が行えます。

本書は2020年10月5日時点の情報を元に作成しているため、実際の画面や仕様と異なる場合があります。

本書に記載のない情報等は下記URLにて随時公開しております

<https://support.gluegent.com/hc/ja/categories/201124422>

本UIはβ版としての提供であり予告なく画面表示内容や機能追加などが行われることがあります。予めご了承ください。

表記・略称

本書では以下のシステムを略称で記載する箇所があります。

AD/LDAPならびにスプレッドシート : データソース



アクセス情報

セルフマネジメントコンソールは、G SuiteまたはOffice 365上で特権管理権限が付与されているユーザーがログイン可能です。

URL

<https://gsync.gluegent.net/sync/>

G SuiteまたはOffice 365どちらの管理者ユーザーで認証するかを選択します。選択したサービスに対応した認証画面が表示されたら、選択したサービス上の管理権限を持つユーザーでログインします。

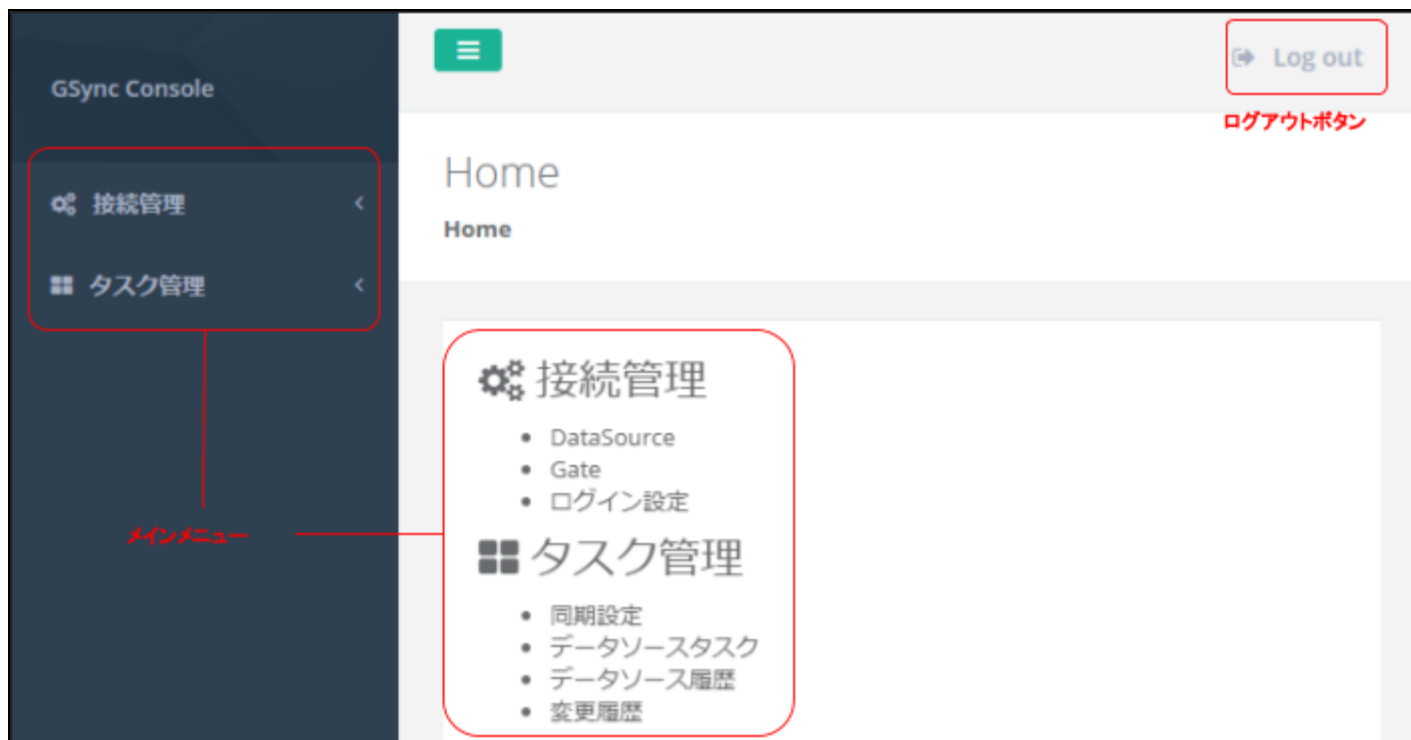


※既にタブや同じブラウザウィンドウでG SuiteまたはOffice 365の管理権限のユーザーでログイン済みの場合、認証画面は省略されセルフマネジメントコンソールのトップ画面が表示されます。



トップ画面

セルフマネジメントコンソールのトップ画面です。





タスク管理

タスク管理では、同期の手動実行や実行結果の確認、同期間隔の設定が行えます。

同期設定

同期設定では、同期の間隔や実行時刻、ユーザー/グループ/グループメンバーの削除処理における許容値が変更できます。

- **パスワード処理方法**

同期対象ユーザーへの更新処理が発生した際のパスワードの上書きの有無を選択できます。

「**初回のみ更新する**」：ユーザーの新規作成時のみデータソースのパスワードをGluegent Gateに反映します。

※既に対象ユーザーがGluegent Gateに存在する場合は新規作成処理ではなく更新処理となるためデータソースのパスワードは反映しません。

「**更新する**」：対象ユーザーの更新処理の度にデータソースのパスワードをGluegent Gateに上書きします。

- **削通知用のTOメールアドレス**

同期の成否を通知するメールアドレスを入力します。



- **同期を行う時分**
同期の実行開始時間を入力します¹。
- **実行方式**
同期の実行方式を選択します。
「**定期実行**」：定期的に実行する場合はこちらを選択します。同期を実行する曜日を選択します。
「**指定日実行**」：日付を指定して実行する場合はこちらを選択します。同期日・時刻を入力します。
- **削除処理における許容値に関して**
データソースからの同期対象オブジェクトの取得と差分検出まで行い、削除対象が許容値を越えていた場合、同期を中止します。

データソースタスク

データソースタスク画面では、同期の手動実行や結果の表示、Gsync上のキャッシュコントロールが行えます。

予定タスク	QUEUE						通知タスク
	アカウント	グループ	グループメンバー	連絡先	セキュリティグループ	セキュリティグループメンバー	
タスク数	0	0	0	0	0	0	0
最近日時							

- **タスク**
 - **予定タスクの再登録**
同期を開始します。
同期が予定あるいは開始されると、各ボタン下の表にて「予定タスク」列がカウントアップされます。暫くして前同期から差分がある場合には「QUEUE」列がカウントアップします。

¹ 予定タスクは深夜0時に作成されます。そのため、その後に変更した時刻については翌日以降の予定で反映されます。例えば、1月1日に23時に設定した場合、1月2日の23時から実行されます。1月3日に22時に変更した場合、1月3日は23時に実行され、1月4日から22時に実行されます。

「QUEUE」列が0となり通知タスクがカウントアップしたら同期は完了です。

※同期処理にかかる時間（カウントアップの遷移）は同期対象オブジェクト数や処理内容、GSync上の負荷状況によって変化します。

※同期対象オブジェクト数が0であっても同期の完了まで数分程度かかる場合があります。

- **予定タスクのクリア**

実行中の同期タスクを中止します。

- **テスト実行**

データソースからの同期対象オブジェクトの取得と差分検出まで行い、実際の同期処理は行いません。

- **キャッシュ**

- **データソースキャッシュを同期成功済キャッシュへコピー**

「テスト同期」などによってデータソースから取得した全ての同期対象オブジェクトを、実際に同期を行わず同期キャッシュにコピーします。コピーされた同期対象オブジェクトは「既にGluegent Gateに同期済み」として扱われるため、次回同期において差分が検出されずGluegent Gateやサービス側への処理は行われません。

- **データソースキャッシュで差分同期する**

前回の同期やテスト同期によって既にGSync内のデータソースキャッシュに取り込まれている情報で差分を検出し同期を行います。通常の同期処理は、同期実行の都度、同期対象オブジェクトをGSyncのデータソースキャッシュに取り込み、取り込んだ内容と前回の同期情報との間で差分を検出し同期を行います。

本機能はテスト同期機能と組み合わせて使用することで、管理者が予め処理内容を確認することが可能となります。

（テスト同期はデータソースキャッシュへの取り込みと差分検出まで行います。管理者はテスト同期後に予定処理を確認後、本機能を実行することで確認した予定処理を実行させることができます）

- **同期成功済キャッシュのクリア**

前回までに同期に成功した情報をクリアします。同期キャッシュをクリアすると、次回同期処理ではデータソースから取得した全ての同期対象オブジェクトが差分となり、新規作成処理が行われます。

※同期キャッシュのクリアで削除されるのはGSync上の同期対象オブジェクトのみです。Gluegent Gateやサービス側のユーザー/グループ/グループメンバーは削除されません。

※Gluegent Gateやサービス側に既にオブジェクトが存在する場合は更新処理が行われます。

- **画面更新**

この画面を更新（リロード）します。



- **変更履歴**

自動/手動同期の結果やテスト同期によって検出された差分を確認することができます。
またその検索条件を指定できます。

The screenshot displays the '変更履歴' (Change History) page. At the top left, there is a green menu icon. The page title is '変更履歴'. Below the title is a breadcrumb trail: 'Home / タスク管理 / タスク表示 / 変更履歴'. The main content area contains a search form with the following elements:

- 'データ種別' (Data Type): A dropdown menu.
- '同期No' (Sync No): A text input field.
- 'Userid or Email': A text input field.
- '部分一致検索' (Partial Match Search): A checkbox.
- '検索' (Search): A green button.



以下は条件を指定せずに表示したサンプルです。

テスト同期を含め一回の同期で ACCOUNT (ユーザー) /GROUP (グループ) のタイプごとに1行、何も差分がなかった場合でも「対象データ無し」としてそれぞれ記録されます。(サンプルの①)

差分が検出された場合は処理内容とその結果を表示します。(サンプルの②)

テスト同期の結果は青字で表示します。テスト同期の為その内容は実行されていません。実際の同期に際してどのような処理が行われるかを表示しています。(サンプルの③)

実行モード	同期No	データ種別	成功可否	ユニーク値	差分検知項目	差分検知項目今回値	差分検知項目前回値
CRUD				UserID or Email	ログメッセージ		
NORMAL	20170321175638	ACCOUNT			対象データ無し		
NORMAL	20170321175638	GROUP			対象データ無し		
NORMAL	20170321174603	ACCOUNT	SUCCESS	ichiro-yamada			
D				ichiro-yamada			
NORMAL	20170321174603	GROUP			対象データ無し		
TEST	20170321173807	ACCOUNT	PLAN	ichiro-yamada			
D				ichiro-yamada			
TEST	20170321173807	GROUP			対象データ無し		
NORMAL	20170321171022	ACCOUNT					



データソース履歴

※前項「タスク表示」－「変更履歴」に統合予定です。

過去に実行した同期の結果を参照できます。

※同期の失敗時について原因がわからない場合は、DateKey（同期No.）を添えて弊社サポートへお問い合わせください。

種別「LDAP/CSV」は、データソースからGsyncに取り込む段階の記録です。

種別「ACCOUNT」/「GROUP」/「CONTACT」/「GROUP_MEMBER」は、GsyncからGluegent Gateへの同期の記録です。

種別「NOTIFY」は、Gsyncから同期結果の通知メールを送信する際の記録です。

データソース履歴

Home / タスク管理 / データソース履歴

種別

成功可否 全て 成功 失敗

開始日時

終了日時

同期No

Email 部分一致検索

1ページに表示する最大件数は50件までです。

更新日時	同期No	CRUD	成功可否	ログメッセージ
------	------	------	------	---------



接続管理

接続管理ではデータソースの情報や、同期先となるGluegent Gate、G Suiteの設定が行えます。

Data Source

データソースとなるAD/LDAPやスプレッドシート情報の変更が行えます。

The screenshot displays the 'Data Source' configuration page in the GSync Console. The left sidebar contains navigation options: '接続管理' (Connection Management), 'DataSource', 'Gate', 'G Suite', and 'タスク管理' (Task Management). The main content area shows the '同期方法' (Sync Method) section with three rows, each listing a sync method and its corresponding protocol (LDAP):

同期方法	
アカウント同期方法	LDAP
グループ同期方法	LDAP
連絡先同期方法	LDAP

Below this is the 'AD/LDAP接続情報' (AD/LDAP Connection Information) section, which includes a table with columns for '接続先 (ホスト名)' (Destination (Host Name)) and '接続先 (ドメイン)' (Destination (Domain)).



Gate

ユーザーの同期先となるGluegent Gateテナントの変更が行えます。

GSync Console

接続管理

DataSource

Gate

G Suite

タスク管理

Gate

Home / 接続管理 / Gate

接続情報

テナントID

ユーザーID (*)

GateのAPIを叩くためのユーザーIDを指定してください。 ※Gateの特権管理者/ユーザ管理者

パスワード (*)

GateのAPIを叩くためのパスワードを指定してください。

G Suite

グループの同期先となるG Suiteドメインの変更が行えます。

GSync Console

接続管理

DataSource

Gate

G Suite

タスク管理

Gate

Home / 接続管理 / G Suite

接続情報

認証方式 (*)

ServiceAccount

ServiceAccountによる認証チェックを行います。
G Suite Marketplaceより下記アプリケーションをインストールしてから作業を行ってください。

- Gluegent Gate
- Gluegent Gsync Spreadsheet Connector ※Spreadsheet利用時のみ

USER ID (*)

G Suite のAPIを叩くためのユーザーIDを指定してください。 ※G Suite の特権管理者



ログイン設定

セルフマネジメントコンソールへのログインをSAMLで行う場合の設定です。

The screenshot shows the 'ログイン設定' (Login Settings) page in the GSync Console. The page has a dark blue sidebar on the left with navigation options: '接続管理' (Connection Management), 'DataSource', 'Gate', 'ログイン設定' (Login Settings), and 'タスク管理' (Task Management). The main content area is white and contains the following settings:

- ログイン設定** (Login Settings): A section header with an upward arrow.
- SAMLテナントID** (SAML Tenant ID): A text input field with the value '-'. Below it, a note says 'SAMLログインを利用する場合はこの値を利用します。' (Use this value when using SAML login).
- SAML公開鍵** (SAML Public Key): A text input field containing a button 'ファイルを選択' (Select File) and the text '選択されていません' (Not selected). Below it, a note says 'PEM形式のみサポート' (Only PEM format is supported).
- ログインユーザ** (Login User): A large text area for specifying users. Below it, a note says 'ログイン者を制限する場合同対象ログインIDを指定してください。' (Specify target login IDs when limiting logins).



Gluegent Gate
GSync セルフマネジメントコンソール

2020年10月5日
サイオステクノロジー株式会社

※本書に記載されている製品名及び会社名は、各社の商標または登録商標です。
※本書の内容の無断転載および改変を禁止します。